

来月の消費予報

4月の消費意欲指数は、春らしい意欲の向上で前月比増。 新生活準備や食関連で意向が高まる

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※3月1-4日に調査(詳細はP5)

2024年4月の消費意欲指数は47.8点。前月比で+1.3ptと上昇し、前年比では+0.1ptで横ばいとなりました。

4月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+1.3 ポイント

+0.1 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

4月のポイント

Point1 物価高の懸念はあるものの、新年度に向けて消費意欲は前月よりやや上昇

例年4月は、3月から消費意欲指数の変動が少ない月ですが、今年は前月比で+1.3ptと上昇し、前年比では+0.1ptで横ばいとなりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて、消費にポジティブな回答(3月347件→4月372件)はやや増加し、ネガティブな回答(3月828件→4月845件)はほぼ横ばいとなりました。具体的にポジティブな回答では、「(新生活・新年度の準備/春だからなど)季節的な意欲向上(3月124件→4月155件)」が増加しています。ネガティブな回答では、「欲しいものがない・意欲がない(3月380件→4月402件)」がやや増加しました。

前年と比べると、消費にポジティブな回答(23年4月346件→24年4月372件)はやや増加し、ネガティブな回答(23年4月879件→24年3月845件)はやや減少しています。具体的にポジティブな回答では、「(新生活・新年度の準備/春だからなど)季節的な意欲向上(23年4月141件→24年4月155件)」がやや増加しました。ネガティブな回答では、「これまでの出費や今後の出費予定のために我慢(23年4月105件→24年4月150件)」「欲しいものがない・意欲がない(23年4月372件→24年4月402件)」や「金銭的理由で節約・我慢(23年4月157件→24年4月181件)」が増加しています。

また、「物価高・値上げ・円安」は、前年比では大幅に減少(23年4月207件→24年4月78件)していますが、直近3ヵ月では微増傾向にあります(24年2月59件→3月65件→4月78件)。

生活者の消費意欲に対する物価高の影響は直近ではやや強まっており、生活者の慎重な姿勢もうかがえます。しかし、その影響は前年よりは大きく低下しており、例年通り新年度への意欲は高まっているようです。

Point2 消費意向は、新生活準備や食関連カテゴリーを中心に前月比増

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は28.9%で、前月比では+2.0pt、前年比では+2.1ptとともに上昇しました。

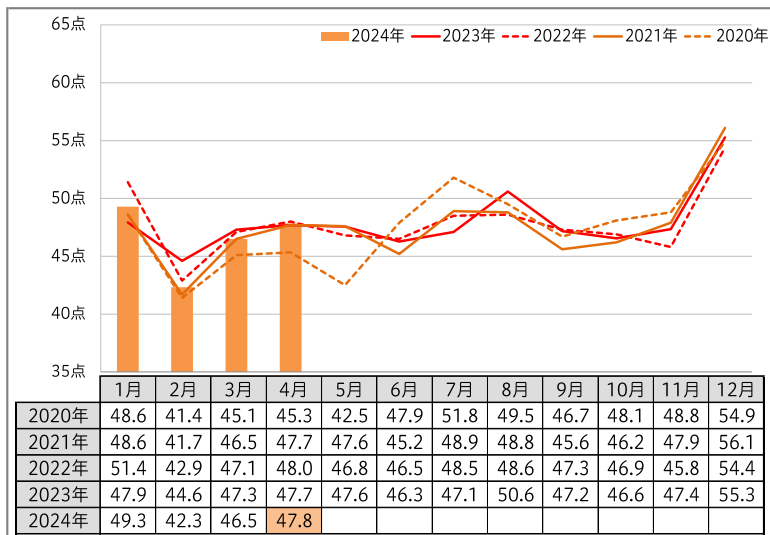
16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「ファッション」「食品」「飲料」「家電・AV」の4カテゴリーで、前年比では「旅行」「ファッション」の2カテゴリーで20件以上増加しました。前月比では新生活準備や食に関するカテゴリーで、前年比では外出関連のカテゴリーを中心に意向が高まることが予想されます。

消費意欲指数

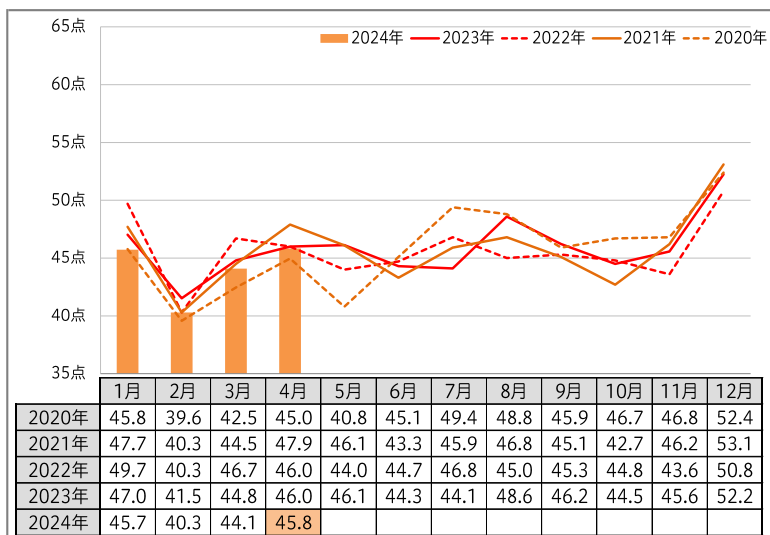
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

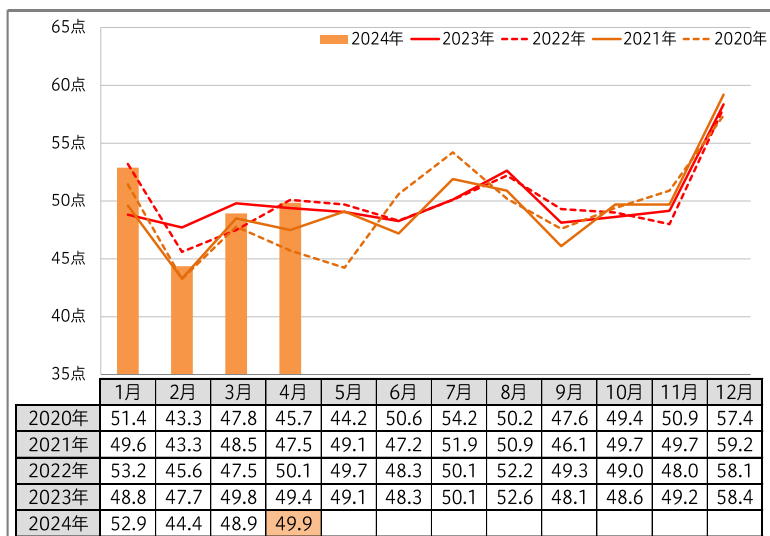
【全体】



【男性】



【女性】



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

(pt)

	(点)						24年4月比較	
	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	24年4月	前月比	前年比
全体	47.4	55.3	49.3	42.3	46.5	47.8	+1.3	+0.1
男性	45.6	52.2	45.7	40.3	44.1	45.8	+1.7	-0.2
女性	49.2	58.4	52.9	44.4	48.9	49.9	+0.9	+0.5
20代	51.0	56.9	49.4	49.6	51.5	49.4	-2.1	-0.9
30代	49.1	56.7	54.5	43.6	46.9	49.3	+2.4	+0.7
40代	45.7	57.2	49.1	40.2	46.1	46.6	+0.5	+2.4
50代	45.6	51.7	45.2	40.8	44.8	45.6	+0.8	+0.3
60代	46.4	54.4	49.3	38.6	44.0	49.4	+5.4	-2.7

+3pt以上の増加

-3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節的な意欲向上】>

- ・新生活が始まるので、服を新調したい(80点・男性20歳・埼玉県)
- ・子どもの新学期なので(60点・男性36歳・愛知県)
- ・新年度の始まりに合わせて身の回りのものを買いたいから(60点・男性40歳・兵庫県)
- ・季節の変わり目だし、新年度なので心機一転するのに新しいものが欲しくなるから(50点・男性58歳・東京都)
- ・春めいて外出する機会が増えるので、外出着などを新調したくなる。また、購買意欲が増加する(60点・男性69歳・大阪府)

- ・新生活なので色々なものを新調したくなると思う(100点・女性28歳・埼玉県)
- ・春になるので、お出かけしたり、服を買ったりしたいから(80点・女性39歳・岐阜県)
- ・子どもの進学などライフスタイルに変化があり、服など色々買いたいと考えているから(80点・女性47歳・奈良県)
- ・春になり天気が良くなると外出機会も増えるし、気分も上がるから(80点・女性50歳・愛知県)
- ・自身のものは特になければ、家族の新年度準備があるから(50点・女性67歳・東京都)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【金銭的な理由で節約・我慢】>

- ・収入が低く、生活していくのに精一杯だから(0点・男性27歳・愛知県)
- ・給料は変わらずで物価高。夢すら見れない。生きて行くだけで手いっぱい(0点・男性34歳・大阪府)
- ・生活費がかつかつで余裕がない(0点・男性42歳・愛知県)
- ・定期昇給が期待できない(0点・男性56歳・千葉県)
- ・物価が上がり、収入増も見込めないため(30点・男性62歳・茨城県)
- ・お金がないから(0点・女性25歳・愛知県)
- ・物価は上がってるが、給料はそれほど上がらないので、引き続き買いたくないようにしたい(30点・女性36歳・愛知県)
- ・買いたいものはあるがそれだけの収入がないので、消費をどれだけ抑えていくかのほうが重要になっているから(30点・女性49歳・神奈川県)
- ・収入が減る予定なので、必要なもの以外は購入を控えたいと思うので(20点・女性56歳・大阪府)
- ・買いたいものはたくさんあるけれど、収入も減り、物価や税金、光熱費で精一杯で、ものを買うことをしなくなった。旅行も外食も楽しいことはできないのが現状です(10点・女性63歳・東京都)

()内点数:消費意欲指数

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2024年4月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	28.9	+2.0	+2.1
男性	25.5	+2.7	+0.9
女性	32.4	+1.4	+3.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(434人)

順位	カテゴリー	4月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	239	+32	+22
2	食品	210	+26	+17
3	旅行	200	+13	+23
4	外食	177	+ 5	- 4
5	飲料	146	+22	+11
6	化粧品	132	- 3	+ 9
7	理美容	116	+ 6	+ 3
8	レジャー	115	+12	+ 8
9	日用品	109	+16	+ 5
10	書籍・エンタメ	107	-11	- 9
11	家電・AV	96	+21	- 3
12	インテリア用品	66	- 1	-10
13	スマートフォン・携帯電話	62	+15	- 3
14	装飾品	60	- 6	- 7
15	車・バイク	52	+19	+ 1
16	パソコン・タブレット・周辺機器	44	-12	-17

参考：男性(192人)

順位	カテゴリー	4月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	89	+21	+10
2	旅行	87	+11	- 1
3	ファッション	82	+16	+ 7
4	外食	71	+ 8	+ 6
5	飲料	67	+16	+ 5
6	家電・AV	54	+20	- 7
6	レジャー	54	+ 7	+ 4
8	書籍・エンタメ	49	- 6	-10
9	車・バイク	36	+ 9	- 6
10	スマートフォン・携帯電話	35	+ 9	-10
11	日用品	33	+ 4	- 5
12	パソコン・タブレット・周辺機器	32	- 4	- 3
13	理美容	27	- 2	±0
14	化粧品	22	+ 5	+ 3
15	装飾品	21	+ 1	- 3
16	インテリア用品	18	- 6	-11

参考：女性(242人)

順位	カテゴリー	4月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	157	+16	+15
2	食品	121	+ 5	+ 7
3	旅行	113	+ 2	+24
4	化粧品	110	- 8	+ 6
5	外食	106	- 3	-10
6	理美容	89	+ 8	+ 3
7	飲料	79	+ 6	+ 6
8	日用品	76	+12	+10
9	レジャー	61	+ 5	+ 4
10	書籍・エンタメ	58	- 5	+ 1
11	インテリア用品	48	+ 5	+ 1
12	家電・AV	42	+ 1	+ 4
13	装飾品	39	- 7	- 4
14	スマートフォン・携帯電話	27	+ 6	+ 7
15	車・バイク	16	+10	+ 7
16	パソコン・タブレット・周辺機器	12	- 8	-14

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	129	143	176	178	128	754
女性	127	137	174	176	132	746
合計	256	280	350	354	260	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2024年3月1日(金)～4日(月) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・加藤) 03-6447-2992 seikatsusoken.info@hakuodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(山田・成田) 03-6441-6161 koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2024-04/>)からダウンロードしていただけます。